

子ども会未来夢



高崎市子ども会育成団体連絡協議会

(こどもかみらいむ)

高崎市高松町35番地 (郵便番号: 370-8501)

高崎市教育委員会事務局青少年課内

電話: 027-321-1297 FAX: 027-322-2559 (8:30~17:30 以外)



↑ 第54回高崎市子ども会「上毛かるた大会」で優勝・準優勝に輝いたみなさん

平成25年度 行事予定 (案)

4/5	定期総会	高崎市役所会議室	9/8	インリーダー養成講習会	観音山キャンプパークジョイナス
4/27	写生大会	浜川運動公園・他市内	10/12	かるた審判講習会	青年センター
5/12	球技大会審判講習会	青年センター	11/17	市子育連60周年記念式典	高崎市中央公民館他
6/2	校区育成指導者研修会	青年センター	1/上旬	市かるた審判・監督会議	高崎市役所会議室
7/4~7	写生大会展示会	市民活動センター	1/19	市上毛かるた大会	浜川体育館
7/6	写生大会表彰式	市民活動センター	1/下旬	かるた市選手合同練習会	市民活動センター
7/下旬	球技大会審判監督会議	高崎市役所会議室	2/9	上毛かるた県競技大会	ぐんま武道館
8/24・25	球技大会	和田橋運動場広場	3/上旬	安全共済会説明会	高崎市役所会議室

※ この予定は、変更になる場合があります。※

市上毛かるた大会

世界一規模大きな上毛かるた大会を開催・一四四コートで熱戦展開

平成二五年一月二〇日(日)高崎市浜川体育館において、高崎市子ども会かるた大会を開催しました。市内五六小学校区が参加し、一二年、三四年、五六年の各ブロックで個人戦・団体戦が行われました。

一次リーグは、一四四のコートを五回戦行われ、昼食後の二次リーグは、一次リーグを一位で勝ち上がった選手達で再び五回戦行われました。その後、優勝決定戦と三位決定戦が行われ全ての競技が終了しました。また午後からは中学生の部も行われ、迫力ある戦いを見せてくれました。会場は子どもたちの元気な声が響き、はちまきやゼッケンなどでチーム力を高めている校区もあり、熱気があふれていました。

大会の前日準備からご協力いただいた校区役員さんや当日競技審判に当たっていただいた校区審判員の皆さん、市子育連審判部の皆さん、参加児童のためにご足労をいただいた校区監督をはじめ多くの保護者や役員の方々に感謝申し上げます。また、各小学校の校長先生には選手たちの激励にかけつけていただきありがとうございます。

なお、小学校一二年の部を除く、各ブロックの優勝・準優勝の個人・団体の皆さんには二月三日(日)にぐんま武道館で開催された県競技大会に出場していただきました。

大会結果は以下のとおりです。団体の名前掲載順は校区からの報告の順です。

- ▽団体戦一・二年の部
 - 優勝 中泉子ども会(桜山小)
 - 岡田 大知 石井 夏樹
 - 小沼 凌也 山藤 僚真
 - 準優勝 中尾団地子ども会(新高尾小)
 - 川島 美莉 塩原 凜
 - 戸部 小梅 高橋 海斗
 - 第三位 下和田三丁目子ども会(城南小)
 - 水谷 理愛 水谷 瑠那
 - 内山 大雅
 - 第四位 北双葉町子ども会(城東小)

- 堀口 温 星野 尊
- 佐藤 颯真
- ▽団体戦三・四年の部
 - 優勝 中泉子ども会(桜山小)
 - 岡田 晃政 塩野 遙加
 - 星野 孝仁 茂木 万莉杏
 - 準優勝 井出子ども会(上郊小)
 - 桜沢 日向 福島 美咲
 - 斉藤 未結 天田 菜月
 - 第三位 中尾団地子ども会(新高尾小)
 - 戸部 小花 塩原 里菜
 - 高橋 郁美 遠藤 真俊
 - 第四位 寺一子ども会(寺尾小)
 - 豊田 綾乃 阿部 真夕
 - 菅原 彩寧 朝川 真衣
 - ▽団体戦五・六年の部
 - 優勝 上大類子ども会(東部小)
 - 町田 峻一 宮澤 陽哉
 - 笹岡 彩佑 長井 日向子
 - 準優勝 中泉子ども会(桜山小)
 - 白須 ななみ 住谷 真悠
 - 南雲 丈 西田 梨瑚
 - 第三位 王塚子ども会(金古南小)
 - 港 えりな 木原 優
 - 佐藤 李乃亜
 - 第四位 中宿子ども会(金古小)
 - 岡田 姫香 高橋 えみ
 - 岡田 真奈 白石 夏未

- ▽団体戦中学生の部
 - 優勝 飯塚第二子ども会(北小校区)
 - 重政 光太郎 河内 達郎
 - 渡邊 千尋
 - 準優勝 第八区子ども会(新町第一小学校区)
 - 関根 舞佳 山下 莉穂
 - 小島 陸 千木良 香琳
 - ▽個人戦一・二年の部
 - 優勝 熊田 新大 桃ヶ丘子ども会(西部小)
 - 準優勝 阿久沢 果歩 上新保子ども会(新高尾小)
 - 第三位 吉田 真優 上小島第二子ども会(六郷小)
 - 第四位 養田 吏紀 蔵屋敷子ども会(久留馬小)
 - ▽個人戦三・四年の部
 - 優勝 神山 瑞妃 下台子ども会(豊岡小)
 - 準優勝 福田 陸人 菅谷子ども会(桜山小)
 - 第三位 山口 花 下三子子ども会(寺尾小)
 - 第四位 岩本 奎昇 真二子ども会(東小)

- ▽個人戦五・六年の部
 - 優勝 石塚 弘夢 下大島子ども会(西部小)
 - 準優勝 南雲 芽生 菅谷子ども会(桜山小)
 - 第三位 松岡 あずみ 東国分子ども会(国府小)
 - 第四位 竹鼻 愛 上小嶋子ども会(六郷小)
 - ▽個人戦中学生の部
 - 優勝 東野 将人 足門九区子ども会(金古南小学校区)
 - 準優勝 木村 里穂 小暮子ども会(馬庭小学校区)
 - 第三位 関根 元輝 第八区子ども会(新町第一小学校区)



→かるた大会対戦の様子

上毛かるた県大会

県大会でも熱戦を展開 高学年（五六年）個人の部 で南雲芽生さん優勝

平成二五年二月三日（日）に群馬県総合スポーツセンターぐんま武道館において第六六回上毛かるた県競技大会が開催されました。

大会は、小学校低学年（三四年）、小学校高学年（五六年）中学校の三部門で団体戦・個人戦で熱戦を展開しました。高崎市代表として出場した選手は、それぞれの部門とも健闘して頂きました。表彰式後に上位入賞の選手と集合写真を撮りました（写真左）。



△ 県競技大会の対戦の様子

高崎市選手で各部門の上位入賞をされた方々は以下のとおりです。

- ▽小学校高学年の部 個人戦 優勝 南雲 芽生 菅谷子ども会（桜山小）一昨年度低学年の部優勝
 - ▽中学校の部 個人戦 第三位 東野 将人 足門九区子ども会（金古南小校区）
 - ▽小学校低学年の部 個人戦 第四位 神山 瑞妃 下台子ども会（豊岡小）
 - 第六位 福田 陸人 菅谷子ども会（桜山小）
 - ▽小学校高学年の部 団体戦 第六位 中泉子ども会（桜山小四年）
 - 白須 ななみ 住谷 真悠
 - 南雲 丈 西田 梨瑚
- 入賞された選手の皆さんおめでとうございます。

写生大会を開催

今年の大会はメイン会場での開会行事と写生大会を実施、大勢の参加により関連行事を開催しました。

第五六回子ども会写生大会が平成二四年四月二八日（土）に新緑まぶしい三ツ寺公園をメイン会場として開会式及び写生会が開催されました。好天に恵まれた会場で、児童たちは用意された画用紙に思い描いていました。メイン会場はもとより各校区等で当日から五月にかけて独自に写

生大会を開催していただき、各地域で工夫を凝らして作品づくりに協力していただきました。

その結果、今年度は五三校区からたくさん作品が出品されました。また、各校区において、特賞・金賞・銀賞を選定いただきました。

市子育連では、各校区から選出された特賞作品を集め各賞の選定を行いました。どの作品も力作揃いで甲乙つけがたく審査員の悩まれる姿が印象的でした。

展示会は七月五日から七月八日までイオンモール高崎内イオンホールにて特賞・金賞作品の展示を行いました。作品を見に来た人達から

「上手だね。」「きれいだね。」などの感嘆の声が聞かれました。

表彰式を七月七日に高崎市市民活動センターにおいて開催しました。各賞に入選された皆さんおめでとうございます。上位作品の写真を掲載しましたが、色彩を伝えられないのがとても残念です。

以下各賞を受賞された児童名を紹介いたします。（特賞のみ記載）

- ▽市長賞 窪 祐姫乃（東部小六年）
- ▽議長賞 富樫 皆美（北小六年）
- ▽教育長賞 日下部 吹雪（中室田小二年）



→市長賞の作品



→議長賞の作品



→教育長賞の作品

▽区長会長賞

堀口 賀代(塚沢小六年)

岡田 芽依(長野小五年)

鈴木 咲梨亜(里見小三年)

江原 貴史(滝川小六年)

原澤 佳那(中居小六年)

▽小学校長会長賞

熊谷 月乃(大類小六年)

茂木 立志(八幡小四年)

竹田 壮一郎(北部小六年)

竹鼻 愛(六郷小六年)

福田 早都(京ヶ島小六年)

▽PTA連合会長賞

岩田 真由(中川小六年)

森川 かれん(箕輪小六年)

飯塚 えりか(桜山小五年)

▽〔社〕観光協合理事長賞

細矢 和可子(城東小六年)

新井 裕也(豊岡小六年)

小島 優太(南陽台小五年)

▽社会福祉協議会長賞

塚越 理彩(西小六年)

堀越 蒼(片岡小二年)

篠崎 俊輔(吉井小六年)

▽ぺんてる社長賞

花澤 あすか(佐野小六年)

加部 諒汰郎(南八幡小六年)

亀山 潤奈(倉賀野小六年)

時田 美咲生(岩鼻小四年)

堀川 愛莉(浜尻小六年)

土谷 成瑠穂(堤ヶ岡小六年)

春山 藍吾(久留馬小五年)

新井 綾華(下里見小五年)

中島 奈瑠美(吉井西小四年)

黒澤 美怜(多胡小四年)

▽文具事務用品組合長賞

嶋田 雅(南小六年)

佐藤 凜(東小六年)

岡田 華綸(城南小三年)

田代 愛梨(新高尾小五年)

小島 美和(矢中小六年)

中島 小由紀(倉測小六年)

石原 光(箕郷東小四年)

中島 小春(国府小六年)

戸恒 篤紘(金古南小二年)

高橋 唯花(新町第一小六年)

▽市子育連会長賞

平田 大地(寺尾小四年)

岡部 創太(西部小五年)

伊藤 優多(乗附小一年)

岡田 和泉(車郷小五年)

鈴木 智紗(金古小一年)

土山 陽大(新町第二小一年)

深澤 大樹(下室田小五年)

高山 陽向(上室田小二年)

飯塚 夢美(入野小六年)

戸塚 千晶(岩平小六年)

インリーダー養成講習会

市子育連では、インリーダー養成講習会をとおして子ども会のリーダーを養成することを目的とし講習会を高崎市キヤンプパークジョイナスにおいて一日で開催しました。

六月二十四日(日)高崎市観音山キヤンプパークジョイナスにおいて、インリーダー養成講習会が開催されました。

受付、開会行事とオリエンテーションの後に『子ども会のリーダーについて』の講話がありました。この講話では、学ぶことが大切なこと、良いリーダーとなるためにはどんなことが必要かということを知りやすく話がありました。

続いて、レクリエーション講習では、参加者と仲良く行動できるように活動を行いました。

昼食は、ホットサンドを手作りし食べました。パンにレタス、玉ねぎ、ソーセージをはきみ、アルミホイルで包み、牛乳パックに入れて入り口から点火をします。慣れない手つきで、戸惑っている子どももいました

が、班員と協力をしながら手作りしていました。五分ほどで温かいホットサンドができあがり、青空の下でできたてをいただきました。

午後はKYT(危険予知トレーニング)講習がありました。この講習では子ども会行事を安全に行うために必要なことを学びました。

その後、オリエンテーリング(山歩き)を行いました。二十個のチェックポイントを目指してグループごとに回ります。朝来た当初はぎこちなかった子供たちも、レクリエーション、昼食作り、KYTのグルー

プ活動、そしてオリエンテーリングの頃にはすっかり慣れてグループごとに協力しながら回っている姿が印象的でした。

オリエンテーリング後、この講習会の感想文を書き、オリエンテーリング表彰式、閉会行事を行い解散となりました。

内容の濃い一日でしたが、参加した子ども達一人ひとりがこの講習会で学んだことを各校区に持ち帰り、リーダーとして活躍することを願ってやみません。



育成指導者研修会

この講習会は校区の役員さんに子ども会の意義などを周知し、今後の育成会の運営に資することを目的として開催しました。

平成二十四年六月三日(日)高崎青年センターにおいて校区代表者研修会を行いました。

今年度もこの研修会は、高崎市内の小学校区の役員と、地域の単位育成会の役員を対象に実施されました。

研修の第一部は「子ども会とは」というテーマで金井理事が講話を行い、「子ども会・その安全と冒険」のビデオを視聴し、その後「良い子ども会活動の事例について」群馬県子ども会育成団体連絡協議会後藤守吉会長の講演をいただきました。子どもの育成は、いろいろな事を体験させ経験をさせることが重要である。あらゆる状況に備え子どもが安心して活動に参加できる様に安全に対する配慮が必要であること、役員は、子どもに信頼されるように努力していかなければならぬ

いことを学びました。

第二部は、KYT(きけんよちトレニングの略)講話を丸山書記が行いました。KYTは子ども会活動における事故防止にも十分活用できる要素があるということを学び、その後「事故や怪我が起きた場合の対応について」講話を金井理事が行いました。

今後も、子ども会行事を支える育成会役員にとって、子どもたちいろいろな活動の経験の機会を増やすと共に、安全第一で活動に取り組んでいきましょう。



→講演に聞き入る受講者

子ども会球技大会

猛暑の中、白熱した試合が展開!

平成二十四年八月一八日(土)、

一九日(日)の両日、高崎和田橋運動公園において、第四十五回高崎子ども会球技大会が開催されました。

前日の大雨で開催が危ぶまれましたが、当日朝四時から、役員の方々の水取り等、大会準備を進めて頂いた結果、無事開催することができました。

ソフトボール十四チーム、ポート



→ソフトボール優勝の岩鼻小校区

←ポートボール優勝の中央小校区



大会結果は以下の通りです。

- ▽ソフトボールの部
 - 優勝 岩鼻小校区
 - 準優勝 佐野小校区
 - 第三位 倉賀野小校区
 - 敢闘賞 豊岡小校区
 - ▽ポートボールの部
 - 優勝 中央小校区
 - 準優勝 中居小校区
 - 第三位 寺尾小校区
 - 敢闘賞 城南小校区
- 次ページへ続く

ボール十五チーム、ドッジボール低学年十二チーム、高学年十四チーム、参加児童数約八〇〇名、関係者三〇〇名、応援に駆けつけてくれた父兄の方々約五〇〇名と、気温三十五度を超える猛暑の中、大勢の方々に参加いただき、白熱した試合が繰り広げられました。

勝利を目指してがむしゃらに戦う子供達の姿は多くの感動を呼び、大きな声援と拍手が贈られていました。

大変暑い中連日ご協力いただいた校区協力者の方々に感謝申し上げます。



→ドッジ低学年優勝の京ヶ島小校区

▽ドッジボールの部(低学年)
優勝 京ヶ島小校区

準優勝 長野小校区

第三位 吉井小校区

敢闘賞 箕輪小校区

▽ドッジボールの部(高学年)

優勝 寺尾小校区

準優勝 吉井小校区

第三位 京ヶ島小校区

敢闘賞 久留馬小校区

上位入賞した校区の皆さんおめでとうございます。入賞できなかった校区は来年の健闘を期待します。



→ドッジ高学年優勝の寺尾小校区

優秀賞を四名が受賞

昨年群馬県子ども会育成団体連絡協議会主催の第一九回子ども会活動体験作文コンクールが実施され、高崎市から応募した、深澤優仁さん(前中尾子ども会)、平井凜花さん(正観寺子ども会)、反町倫太良さん(笠日高子ども会)と吉田芽生さん(かじ町子ども会)の体験作文が優秀賞を受賞しました。受賞おめでとうございます。今後のご活躍を期待しております。

受賞した作文を紹介させていただきます。

優勝めざせ

深澤 優仁 前中尾子ども会
(新高尾小 五年)

ぼくは、子ども会活動で毎年楽しみにしているのが、ソフトボール大会です。

三年の時は銅メダル、四年の時は金メダルだったので、今年は銀メダル以上が目標でした。

今年は練習日が雨で、あまり練習

ができませんでした。それなので、お父さんとバッティングセンターに行ったり、公園に行って練習しました。練習日の日は、練習が終わった後にお父さんとゴロを捕る練習をしました。

本番前かんとくから、「みんなで力を合わせれば、メダルが取れるぞ。」と言われました。ぼくは、メダルを取るぞと思いました。

第一試合目が始まりました。ぼくたちのチームは、毎回点を取っていたので勝てると思ったら、最終回に大量点を取られてしまい、十一対九になってしまいました。まずい、と思ったしゅん間試合終了ようになり、勝てました。

第二試合は、練習試合をした所でした。十八対六で快勝しました。

決勝戦です。目標としていたメダルは、取れます。後は金か銀です。ぼくたちは一生けん命戦いました。最初は勝っていて、また優勝できると思いました。そして最終回ぼくはピッチャーをやり続けて、つかれ、相手にたくさん打たれてしまい、九対十一で逆転負けになってしまいました。結果、銀メダルでした。

みんなくやしい思いをしています。

した。でもかんとくは、「よくがんばった。」と言ってくれました。

ぼくはこの三年間で、金、銀、銅がそろいました。来年は、最後のソフトボール大会になるので、もう一度金メダルを取って市の大会に出たいです。

思い出いっばいの球技大会

平井 凜花 中川地区正観寺子ども会(中川小学校 四年)

「ゴール!ピピ。」試合終了のホイッスルが鳴った。

「正観寺チームは決勝進出だ。」私はおうえん席でうちわを両手にぎりながら大よろこびした。

「決勝もがんばっておうえんするぞ。」私は、仲間達と意気込んだ。

決勝戦のアップが始まった。その時、とつぜん、かんとくにかたをたたかれ、次の試合に出るように言われた。私は急に言われておどろいた。とうとう決勝戦が始まった。私は、十番をマークすることになった。私は子ども会のポートボールを始めから、銀メダル、銅メダルはもらったことがあったけれど、金メダルは持っていないだったので絶対に勝

ちたかった。正観寺チームも相手チームも、みんなぎんちようしているように私は見えた。もちろん、私もドキドキしていた。

試合が始まるとみんながすごいスピードでボールを追いかけた。味方のゴールと相手のゴールを行ったり来たりして息切れした。私は必死だった。私は、マークしていた十番の持っていたボールをカットしようとして、反そくをしてしまった。私は少し不安になってしまった。けれど、仲間が大きな声で、「ナイスファイト。ドンマイ、ドンマイ。」と声をかけてはげましてくれたので安心できた。

それから、私はゴールの近くへ向かった。すると、キャプテンが私にボールをパスしてくれた。私は、頭が真っ白になったが、ゴールを決められた。私は、とびあがりたくなるほどうれしかった。でも私は、試合の中かなぜだかわからないが涙があふれていた。

そして、試合はどんどん進んで終了した。

三十七対三十五で私達のチームが勝った。なんとゆう勝したのだ。みんな泣きながらよろこんだ。試合に

出ていた上級生に、「よくがんばっていたよ。」と、ほめられて、毎週毎週練習していてよかったです。

そして、閉会式で金メダルを首にかけてもらった。私は、子ども会のポトボールに参加して、とてもよい経験になった。がんばる事、あきらめない事、みんなで力を合わせる事の大切さを知ったからだ。

最後にとった記念写真では、とても自信マンマンの顔でポーズできた。

仲間の大切さ

反町倫太良 笠日高子ども会
(新高尾小学校 六年)

僕の思っていた仲間は友達や仲の良い人。

しかし、この体験で僕の思っていた仲間の考え方が変わった。

僕は子ども会の球技大会にむけて仲間と練習していた。男子はソフトボールで試合をする。初めての練習だったので、キャプテンを決めた。僕は監督が、「では、この中でキャプテンをやりたい人」と言っていて手をあげた。ぼくには迷いがなかつた。

初めての練習のチームワークはバラバラで、どこに投げたらいいのかわからない子や、監督とコーチが話をしている時にしゃべっていて聞いていない子などがいた。

しかし、「このままではいけない」と思い、みんなの手を借り、ボールを取った子に、指示を出したり、緊張しているピッチャーにみんなで声をかけたり、他にも良いプレーは

ほめて、悪いプレーにはアドバイスをし、少し態度の悪い子に注意をするなど、みんなにたのみました。すると、練習の度に声かけの声が大き

く、アドバイスの回数が多くなりました。日に日に成長していくチームを見て、チームを良くしているのは、みんなのおかげなので、心の中が感謝の気持ちでいっぱいになりました。

そして練習の日々が続きチームワークが良くなったことで、みんなのプレーにも影響し、自信のある力強いプレーができるようになりました。

そして大会当日。ストレッチやキヤッチボールを終わらせ一試合目が始まった。初めから守備も攻撃も絶好で、みんな全てを出しきり試合が終わった。結果は圧勝だった。

「よっしゃー」みんなが喜んだ。監督やコーチ、応援してくれた人たち全員でつかみとった勝利だ。僕の中の心には、うれしい気持ちと感謝の

気持ちがあった。その後の二つの試合では、守備も攻撃も絶好ではあつ

たが、相手の強さに負け、一勝二敗で球技大会が終わった。応援してくれたみなさんの期待に応えられず、

みんな悔しい思いをした。けれどこの時、僕の思っていた仲間の考え方が変わった。それは、仲間とは「協力」というパズルを完成させる一ピ

ースだということ。僕はこの体験から、仲間がいないと、ただの人としてできる仕事しかできないが、仲間

がいて協力すれば、その何倍もの仕事ができる事を学んだ。これから学んだ事を活かして、みんなで協力してどんな事でもチャレンジして、やりとげてやると思いました。

はい品回収に参加してみた

吉田 芽生 かじ町子ども会
(吉井小学校 六年)

「わあー、いっぱいあるなあ」

私が高学年になって、はい品回収に参加して、初めて思った印象です。

新聞紙や雑誌がたくさん出ていて、私の頭の中はそのことについていっぱいになりました。

はい品回収は、子ども会活動の中でも、ずっと続いている活動です。

私が小さかったころも先ばいのお兄さんお姉さんが行っていました。

「はい品回収ってどんなことをやるのかな。はやく高学年になって友達と一緒にやってみたいな。」と

思っていました。高学年になって初めてはい品回収を行っている幼稚園に行ってみました。私はびっくり

していました。駐車場がいっぱいになっていたので、車がやってきました。車の中には新聞紙がうもれていました。私たちはそれをお手伝い

しました。車から降りて回収ぎょう者の車につむのです。新聞紙が思った以上に重たかったです。ピールの缶やジュースの缶もありました。ピールの缶は、想像以上にお酒のにお

いがして気持ち悪かったです。でも中には、牛乳パックをきちんと洗って開いてかわかしてそろえて束ねているものもありました。

皆さんの言葉を思い出しました。それははい品回収の何日も前のことだったと思います。学校から帰ってきた私は「こんにちは」とあいさつをしました。するとおばさんは一生懸命新聞を束ねている所でした。そしてこう言ってくれたのです。

「前回ははい品回収が終わってからずっとおいておいたよ。少しでもみんなが大きくなるのに、お手伝いできたかなと思ってるんだよ。そうやってうちの子が小さい時も周りの人たちに協力してもらったんだよ。」と言われました。

このはい品回収をしていることは、私はとても大変なことだと思いました。でも私が生まれる前から活動し、支えられています。そして、私たちは大人になるんだなと思いました。だから、途中でやめたりしないで受け継がれていくのだと私は思いました。

今までがんばってきた先ばいのみなさんや育成会の役員の方々、地域の人たちに感謝をしながらこれからも吉井小学校区かじ町子ども会のはい品回収を続けていきたいと思いました。

今年度を振り返って

市子育連会長 樋山 敏男

今年度は、年度当初に計画した行事全てを、事故なく無事に終了することができました。

これは、市子育連役員をはじめ、校区役員や会員皆様のご協力のおかげと深く感謝しております。改めて御礼申し上げます。

また、来年度は、本協議会が創立六〇周年の大きな節目を迎えます。

この六〇年間、子どもを取り巻く環境の変化に戸惑いながらも、本協議会の発展を支えてきたのは、歴代の会長・役員をはじめ、多くの会員の皆様方の長年にわたる支援によるものであったと思います。

これからも、高崎の未来を担っていく子ども達が、豊かな心を育み、それぞれの個性を發揮しながら、ふるさとに愛着を持って、社会の一員として、たくましく育っていくことが、市民の願いであると考えます。

「地域の子どもは地域で育てる」をスローガンとして、今後も子どもたちの育成に励んでいきたいものです。ともに頑張りましょう。

新年度は創立六〇周年

高崎市子育連は、来年度に創立六〇周年を迎えます。

市子育連本部では、一月一七日（日）午後二時から高崎市中央公民館集会ホールにおいて記念行事を計画しています。

第一部では記念式典と表彰を行い、第二部はアトラクションで高崎市内の子ども会で行われている芸能などの発表を二団体行います。

午後五時から、会場を高崎ビューホテルに会場を移し、創立六〇周年祝賀会を行います。

私たちの先輩諸氏の方々によって連綿と受け継がれてきた、子ども会活動と子ども会育成会活動に敬意を表し、今後もさらに継続していく力を結集したいと考えております。

各小学校区のみなさんも一緒にこの節目のお祝いをしたいので、校区役員の方々の参加をお願いいたします。

詳細については、新年度になってから、各校区会長さんを通じ連絡をいたします。

「子ども会活動体験」作文募集中

高崎市子育連では、子ども会活動体験作文を年間通じて募集しています。

子ども会活動は、異年齢の仲間集団の中で豊かな活動体験を通して、子どもたちの成長を促すことを目的として活動を展開しています。今後の子ども会活動をさらに充実発展させていくために、子ども自身に子ども会での体験を作文にさせていただいて、子どもの率直な「意見や感想」を応募していただくことにより、子ども会活動を推奨する目的で実施をします。

作文内容は、「子ども会活動（育成会主催行事を含む）に参加」して、自分自身で体験したことや、感じた事などを作文にさせていただくものです。どんな内容でも子ども会（育成会）活動に関するものであれば大丈夫です。市販の原稿用紙2枚程度にまとめてください。

応募作品には作文の裏面に、作文の題名、子ども会名、氏名、学年、住所、電話番号を記載してください。

応募された作品は、市子育連広報紙等に掲載のほか子ども会活動啓発資料として使用させていただくことがあります。また、毎年8月末日までに応募いただいた作品の中から優良な作品については「群馬県子ども会育成団体連絡協議会の子ども会活動体験作文コンクール」に推薦いたします。

お子さんの書いた子ども会体験作文をどしどしご応募ください。応募お待ちしております。

応募作文の提出先は、市子育連事務局（高崎市青少年課内）へ提出してください。

編集後記

今年度も、広報紙を会員の皆さんに親しんで読んで頂けるように子ども達が書いた行事の作文を「子ども会活動体験作文」で応募された作文の中から、県子育連作文コンクールに入選した作文（四作文）を掲載いたしました。作文を応募いただいた皆さんに感謝申し上げます。今後募集と掲載を続けていきたいと思っております。この広報紙をお読み頂いた「ご感想」や「ご意見」をお寄せ頂ければ幸いです。A4用紙にご記入のうえFAXにて市子育連事務局（FAX：027・322・2559）8時30分から17時30分までの間は不可）へ送ってください。よろしく願います。

発行責任者 会長 樋山 敏男
 担当副会長 桜井 立也
 編集担当者 書記 丸山 芳典
 広報部会員 坂口 伸枝（城南小）
 “ 浅見 知子（城東小）
 “ 伊藤 美千代（京ヶ島小）
 “ 永井 誉（東部小）
 “ 阿久津 陽市（倉瀬小）
 “ 清水 哲也（中室田小）
 “ 星田 富子（里見小）
 “ 武田 明子（吉井西小）